

障がいのある方と 地域で暮らす

毎年12月3日～9日は「障害者週間」です。泉区では、障がいのある方もない方もお互いを尊重し合い、地域で活躍しています。この機会を通じて、障がいのある方との生活について一緒に考えてみませんか。



第37回 泉区福祉の作品展

令和5年 12月4日(月)13時～
12月8日(金)14時
泉区役所1階区民ホールで開催します。

泉区民ふれあいまつりの出店

11月3日(祝)に開催された泉区民ふれあいまつりでは、区内の障がい福祉施設8団体がブース出店して、幅広い世代の方で賑わっていました。今回は、「第2つぼみの家」のみなさんにお話をお聞きしました。

第2つぼみの家 利用者にインタビュー

出店を通して知り合いや、そのまた知り合いと繋がり、話す事が出来て楽しかったです。

「障害者週間」の期間でなくても、お互いの事を尊敬し合い、隣にどんな人がいても当たり前と考える事が出来る社会になってほしいです。そのため、様々な人と交流する機会を持ち、「私たちがいる」という事を知ってほしいです。



▲第2つぼみの家所長 常松さん(左)
第2つぼみの家利用者 岩崎さん(真ん中)
るあな所長 勝野さん(右)



日中活動において、話し合いを重ねながらデザインし、利用者様が作ったアクセサリー・刺し子布巾や干し野菜等を販売しました。



サロンを通じた交流

中川地区で行われている永明寺別院サロンは、障がいのある方・親子・小学生・高齢者といった幅広い世代が参加し、心を通わせる場となっています。今回は、サロンに参加している障がい者施設「わいわいクラブ」の方にお話を聞きました。

わいわいクラブ 職員にインタビュー

サロンには、毎年3～5名の希望者が参加しています。

毎回ちがうプログラムは楽しみの1つですが、顔なじみのボランティアさんに会える事は何よりも安心し、参加する動機となっています。

サロンで知り合った方とまちでお会いした時、お互い声を掛け合える関係になれた事も嬉しかったです。



▲洗剤のりからシャボン玉を作りました。小学生・特別支援学級の生徒と交流し、とても嬉しかったです。

